

GX市場創出研究会 中間整理案について

**2024年3月12日
事務局**

1. 前回の論点、 本日御議論いただきたいこと

第3回研究会で議論された主な論点

各業界で進む取組

GX付加価値が認められる 仕組みづくり

公共調達

消費者の行動変容

国際展開の仕方

適切な呼称

- 自動車でも不動産でもLCA・CFPの算定の取組が進んでいる点がよく理解できた
- 今後は開示・表示の話まで踏み込めると共通に算定を行っていく土台ができるのではないかな
- 調達する側にGX価値をいかに理解して頂き、調達行動につなげていくのか、仕組みづくりが必要
- 公共調達でも国や自治体があり、民間でも大企業と中小がいる中で、見える化だけしていてもインセンティブとしては弱い
- 規制への折り込み、公共調達、補助金のようなインセンティブの他、環境省で進めているような調達側の理解促進の取組も必要
- 公共調達については、環境省・国交省を議論しつつ、加点なのかとか、配慮事項なのかとか含めて検討できると良い
- 最終的には消費者の行動変容までつなげる必要がある、環境省と連携しつつ行動変容に向けた仕組みを検討していくべき
- 最初からISOやGHG Protocolに打ち込むのか、仲間づくりをしていくのか、国際展開の仕方についてはメリットデメリット含めて評価をし判断する必要
- 産業政策や外交政策の武器として、削減実績量を使うことはできないか
- 削減実績量(仮称)の呼称については、呼びやすさ、分かりやすさ、標準化しやすさなどの観点からの検討が必要
- REは再エネという意味で浸透しているのでそぐわない、Reduced carbonはCarbon reductionとして国際的に定義されているので難しい、REFPは発音がしにくいなどの意見あり、要検討

本日の研究会で御議論いただきたい内容

- 事務局資料4-1（中間整理案）、4-2（中間整理別紙案）及び前回までの議論も踏まえつつ、本日は以下について御議論いただきたい。

1. 中間整理案について

- 本日お示した中間整理案について、これまでの議論を踏まえたものになっているか。
- 社会に中間整理案を提示するにあたって、よりわかりやすい書き方や修正すべき点はあるか。

2. 今後の議論に向けた課題について

- 今後、官民においてそれぞれ取り組む施策について、重要なポイントはなにか。
- 今回とりまとめる中間整理を受けて、今後議論が必要な課題はなにか。

2. 今後の進め方について

中間整理公表に向けた進め方

- 中間整理公表に向けては、以下のスケジュールで進めてはどうか。
- 本日の議論を踏まえ、事務局において、今週中を目途に最終的な修正

2024年3月12日

第四回検討会（本日）

テーマ： 中間整理案について

～2024年3月15日

中間整理の最終修正（事務局）

2024年3月18日週

中間整理公表（予定）